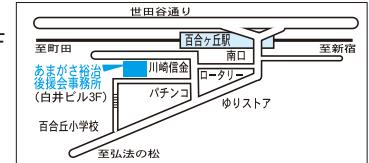




発行所／民進みらい川崎市議会議員団事務局  
〒210-8577  
川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内  
TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

ホームページ : <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

百合丘事務所 〒215-0011  
川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F  
小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分  
TEL・FAX:044-955-2417  
メール : amagasa-@khaki.plala.or.jp



# いよいよルート・事業費確定へ 精度を上げた調査が始まります

皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今号では横浜市営地下鉄3号線延伸の進捗状況やアンケートでご協力いただきました川崎市域のルート選定について報告いたします。

これまで横浜市においては横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸に向けて航空測量をふくめた概略の調査が行われてきました。来年度からは駅施設の具体化や工法など主にハード面の整備に伴う事前精度を上げる最終調査に取りかかることとなりました。

この調査の内容は延伸区間全線でのルートの確定や駅位置、駅周辺の開発など事業において必要なすべての項目を明らかにする調査と言えます。つまり、総事業費を確定する精度の高い事業着手のための重要な調査であることを意味するのです。

## 川崎市が本格的事業費の調査着手を

しかしながら、川崎市は既存の資料を提供するなどの協力はしてきましたが、川崎市においては何よりも建設に際して、横浜市との事業費の案分が重大な懸案事項であるとの姿勢からなかなか主体的な調査に着手できませんでした。

ところが、ここにきて正確な総事業費を算出す

るには川崎市側のルート、新駅を含む駅位置、駅周辺の開発計画などを明らかにしないと決定できないことが判明しました。いうまでもなく川崎市側のルート、新駅を含む駅位置、駅周辺の開発計画などは当然ながら、川崎市が決定しなければならない自らのまちづくりに関することであり、横浜市が手を出すことではありません。事業早期達成には横浜市の今後の調査期間の中で本市も歩調を合わせて取り組まなければ事業費の案分すらできないことが明らかになったのです。

事業費を問題として川崎市の責任で行う調査を決断しないといつまでたっても案分の議論すらできないことを真剣に反省し、受け止めて本格的な調査着手をしなければなりません。

再三の指摘にもかかわらず本市がこのように後手後手に回ってしまったのは、残念ですがこれまで鉄道事業を行った経験がないことに起因していると言わざるをえません。事業早期達成のために横浜市の今後の約2年間にわたる調査期間の中で本市も歩調を合わせ真剣に取り組むべきタイミングになったのです。さらに今回協調することによりこの後に控えている環境アセスメントや都市計画といった事務作業の時間短縮にも大きく貢献するのです。

今後とも皆様のお力を貸してください。

## 要望書

川崎市長 福田 紀彦 様

代表者 川崎市議会議員 雨笠 裕治

これまで横浜市においては横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸に向けて航空測量をふくめた概略の調査が行われてきました。来年度からは駅施設の具体化や工法など事業化総予算を明らかにするために事前精度を上げる調査に入ります。

これまで本市でも既存の資料を提供するなどの協力はしてきましたが正確な総事業費を算出するためには横浜市の今後の調査期間の中で本市の主体的な調査が不可欠であり、今後の事務手続きにも重大な影響を与えます。

市長におかれでは、協調し推進するための事業と予算を講じるよう、賛同する皆さんと要望します。

以上趣旨に賛同し署名します。

氏名

住所

氏名

住所

氏名

住所

横浜市営地下鉄3号線  
延伸による  
麻生区のまちづくり

## 川崎市と横浜市の 早期合意形成のため 意見をお聞かせください

福田・川崎市長にも  
選挙公約実行を求めています

福田市長は2013年の選挙で、自分の公費ポスターに「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を記載、特記しています



川崎市議会議員  
**あまがさ 裕治**

## 皆様の思いを訴えていきます 市長への要望書にご協力ください

今回の麻生通信では、福田市長に横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸を促進させるために、皆様とともに訴え、要望を提出していきたいと思います。

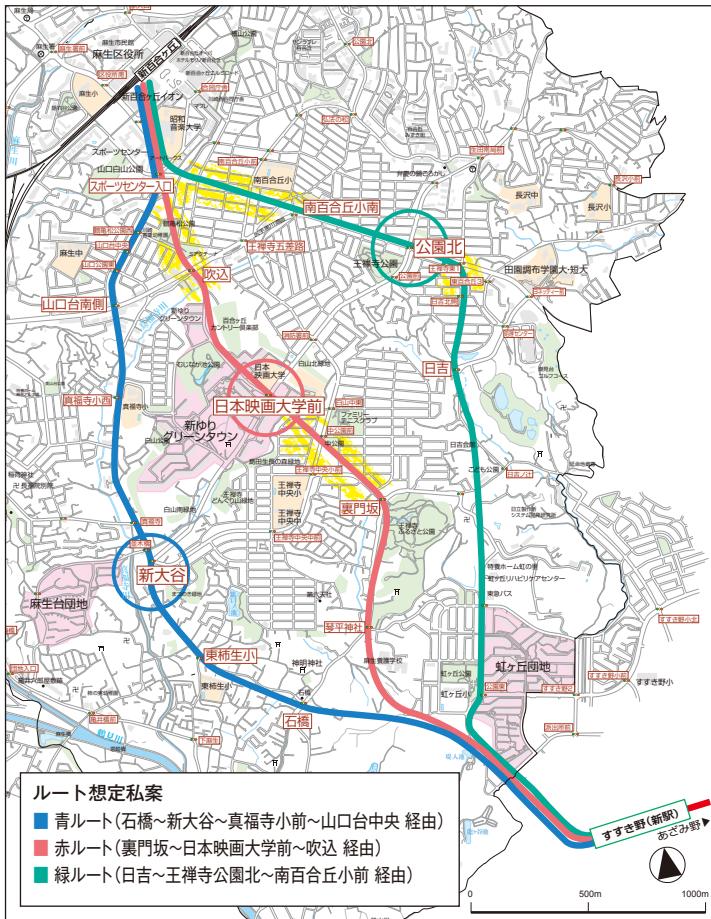
市長へ要望するために、趣旨に同意する署名欄に住所、氏名をお書き頂き、ご返送下さいますようにお願い致します。

【署名は要望書以外には使用いたしません】

## あまがさ 裕治 平成28年の取り組み

- ・国土交通省からの交通政策審議会答申のヒアリング
- ・川崎市担当者へ交通政策審議会答申の考え方について説明
- ・川崎市交通政策室へこれまでのアンケート調査の結果および返信ハガキを提出
- ・横浜市会、横浜市担当者との協議
- ・川崎市長へ2回の予算要望
- ・川崎市副市長、まちづくり局長への申し入れ
- ・麻生区選出議員と語る会、白山まちづくり協議会等で進捗状況の説明

▶ 上の切り取り線で切ってFAX(044-245-4135)か、郵送で返信を



※ルート想定地図内の ■ 部分は戸建て住宅等の密集エリア



## 平成28年 決算審査特別委員会 (まちづくり分科会 第1回) - 09月26日-08号

◆あまがさ裕治 横浜市営地下鉄3号線のあざみ野駅から新百合ヶ丘駅への延伸に係る横浜市と川崎市の連絡会は、平成27年度に4回の会議を持ったが、それぞれの詳細と本市の取り組みは?

◎武藤智則 交通政策室担当課長 「横浜・川崎連絡会」の平成27年5月、8月の会議では、同年8月に開催された「交通政策審議会のヒアリング」への対応について協議調整を行い、共同で横浜市営地下鉄3号線延伸の提案を行った。ヒアリング後の11月の会議では、すすき野、新百合ヶ丘駅周辺の現場確認を行い、平成28年3月の会議では、平成28年度のスケジュール確認などを行った。

◆あまがさ 一緒に現場確認等も行って、協調して行ったとはいうが、平成27年度の委託業務の具体的な内容と成果では川崎市側は積極的でないとも聞いている。横浜市と協調した具体的な内容は?

◎交通政策室担当課長 委託業務は、今後の鉄道新線整備に伴うまちづくりへの影響に関する他都市事例の調査や、路線計画検討に必要となる地図データの作成を行った。なお、地図データは、横浜市に資料提供しており、横浜市における事業計画検討の深化が図られると考えている。

◆あまがさ 横浜市へ提供したデータの内容と時期は?

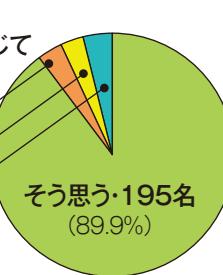
◎交通政策室担当課長 新百合ヶ丘駅周辺の縮尺1,000分の1の現況平面図を、平成28年8月に提供した。

◆あまがさ 横浜市との協定に基づいて、JR南武線連続立体交差事業も同時に協議を進めている。事業

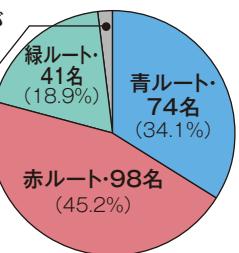
## 延伸に関する市民アンケート 川崎市・横浜市に報告しました。

(平成28年3月～実施、10月末集計)

- Q1  
【川崎市は積極的に予算を講じていいべきだと思いますか?】
- そう思わない・7名(3.2%)
  - どちらともいえない・7名(3.2%)
  - 無回答・8名(3.7%)
- 総回答数: 217名



- Q2  
【想定私案の中でどのルートが良いと思いますか?】
- 無回答・4名(1.8%)
- 総回答数: 217名



### Q3

#### 【青ルートを選ぶ理由】

- ・グリーンタウンから近い。新大谷あたりに空き地あり(王禅寺東5)
- ・戸建て住宅地の下を通るルートは、予算4倍、時間3倍多く必要と考える(上麻生2)
- ・戸建て密集エリアを通らない(住民調整が容易、コスト減)。利用者の需要がある(王禅寺西7)
- ・戸建住宅地域の影響少ない。新大谷地区開発、グリーンタウン、麻生団地活用に効果(上麻生2)
- ・住宅密集していない。距離が短い。大学がある。道路渋滞が緩和される(はるひ野4)
- ・道路幅が広いエリアが多く工期短縮が期待。グリーンタウン、麻生台団地、三井住宅があり利便性、採算性が良い(王禅寺4)

#### 【赤ルートを選ぶ理由】

- ・距離が最短。人口集中(グリーンタウン、王禅寺東、西)している(千代ヶ丘9)
- ・グリーンタウン等大規模集合住宅あり。文化都市として川崎の差別化ができる(王禅寺東4)
- ・映画大学付近を通ることで映画の街としてイメージアップ(王禅寺西1)
- ・グリーンタウン、映画大学があり利用者多い。最短距離で工事費用、期間のメリットあり(王禅寺西3)
- ・新百合駅周辺の道路事情を考えグリーンタウンからのバスを減らせる(王禅寺東2)
- ・人口密集地を通る。バスからの移行が見込まれ、渋滞低減が期待できる(上麻生1)

#### 【緑ルートを選ぶ理由】

- ・住民以外にヨネッティー、田園調布大学、かわさき記念病院の利用者が見込める(高石1)
- ・尻手黒川線の下の利用、駅設置等条件が適している(王禅寺西2)
- ・尻手黒川線の下の利用、騒音問題が少なそう。大学とヨネッティーがあり利用者多い(王禅寺西5)
- ・尻手黒川線が利用できる。日吉の辻～日吉間の道路完成と併せての工事が合理的(王禅寺東1)
- ・虹ヶ丘・日吉間は非住宅地が大半で収用上メリットあり(王禅寺東1)

### 横浜市営地下鉄3号線とは

ブルーラインという愛称で呼ばれる横浜市営地下鉄3号線。湘南南台駅(藤沢市湘南台)から関内駅までの1号線と関内駅からあざみ野駅間は一体的に運行していく、総距離40.4km。都営大江戸線に次ぐ日本第2の長距離地下鉄です。

横浜市の試算では、延伸によって「あざみ野～新百合ヶ丘」間は現状の約36分から11分と25分短縮され、2回の乗り換えもなくなります。「新百合ヶ丘～新横浜」は46分から26分になります。JR横浜線とともに、2027年に完成予定の中央新幹線(リニア)「橋本駅」と東海道新幹線「新横浜駅」を結ぶルートとなります。横浜市によれば、あざみ野～新百合ヶ丘への延伸需要規模は45～53千人／日(輸送密度)。現在の相鉄いずみ野線と同規模です。概算事業費は概ね1,300～1,500億円、累積資金収支は23～31年目で黒字転換すると試算されています。

郵便はがき

215-8790

526

(受取人)

川崎市麻生区高石

3-27-4

あまがさ裕治

事務所行

料金受取人払  
麻生局承認  
526

差出有効期間  
平成29年  
12月20日まで

あなたのご意見をお寄せ下さい

お名前	住所・電話
ふりがな	川崎市
TEL	( )